



平成18年(2006年)
3/5
第1098号

発行：小平市
編集：小平市
教育委員会
〒187-8701
小平市小川町二丁目
1333番地
☎042(346)
9568(直通)

市報 こだいら

教育特集号

◇小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp> ◇電子メール info@city.kodaira.tokyo.jp ◇こだいらテレホンガイド ☎042(342)1222

未来を担う子どもたちを地域で育てる 学校支援ボランティア

共に創る

学校支援ボランティアは多彩で多様な活動を
応援しています

学校支援ボランティアには、多彩で多様な力をもった方々が
たくさんいます。

自分の興味・関心や個性を生かした教育活動
の支援に子どもの笑顔が輝きます。

学校支援ボランティアは子ども
の夢を応援しています

身近な地域で子どもたちが大人
と関わることは、よき大人のモデル
に触れることになります。

学校から地域に心のネット
ワークを広げます

お世話になった地域の方々に、感謝
の気持ちが表現できる子どもたち
を育てていきます。

地域から学校にきずなのネット
ワークが広がります

世代を超えた地域活動が生まれています。その地域活動の体験
を共有することを通して、子どもたちは感動を知り、きずなの
ネットワークを感じています。地域に受け入れられた子ども
たちの表情は輝いています。

共に広げる

ボランティアとは、そうした共同
体にも貢献することで、みずから
の居場所や生きがいを見いだすこ
とであり、ボランティアを通して
人々のきずなは、いっそう確かな
ものになります。

共同意識とボランティア精神
は、日本社会の伝統的価値観でも
ありました。

したがって、ボランティアと共
に歩む小平の教育改革は、伝統に
立脚し、市民と「共に」小平の明日
を「創る」ことにはかなりません。

皆様のいっそうのご理解とご支
援をお願い申し上げます。

共に育つ

学校支援ボランティアで教育環境が豊かになります

図書ボランティアの手によって模様替えされた図書室が、明
るく見違えるようになりました。花壇の花植えやトイレの清掃
で気持ちよい環境が整えられてきました。豊かな環境は
子どもの心をもはぐくんでいます。

学校支援ボランティアで地域が元
気になります

地域のあちこちで、大人と子どもの
あいさつが交わされる地域。子ども
を中心に大人のコミュニケーション
が生まれる地域。地域に活力
が生まれ、元気が出てきます。

学校支援ボランティアは
世代を超えたコミュニティ
を創り出します

子どもたちが大人になったときに「小
平は楽しかった」と言える、ふるさととし
ての小平であってほしいと願っています。

大人にとっても子どもにとっても、豊かな生き方
ができる、地域に支えられる学校創りを目指していきます。新
しい公立学校のあり方を、地域参画型のコミュニティ・スクー
ルとして小平市から発信をしていきます。

共に豊かに

ボランティアと
共に歩む



小平市教育委員会
委員長
堀内 敏宏

この教育特集号の発刊にあたり、小平市の学校支援ボランティアの皆様に、心より深く感謝申し上げます。

小平の教育改革は平成13年度から、「地域で育てようすこやかな子ども」を合言葉に、家庭・学校・地域の3つのパートナーが一丸となつて進められていますが、地域の力はまことに偉大です。

子どもの安全・健全育成から授業支援まで、いまや地域のボランティア抜きでは、子育ても学校運営も語れないほどになりました。

小平のボランティア活動が盛んなことは、わが町わが学校に対する市民の思い入れや、掛けがえのない子どもたちの成長を祈る心が、ひととき強いことの表れです。

「地域」と言うとき、その中には学校も家庭も含まれ、3つのパートナーは切っても切れない共同体です。

ボランティアとは、そうした共同体にも貢献することで、みずからの居場所や生きがいを見いだすこととあり、ボランティアを通して人々のきずなは、いっそう確かなものになります。

共同意識とボランティア精神は、日本社会の伝統的価値観でもありました。

したがって、ボランティアと共に歩む小平の教育改革は、伝統に立脚し、市民と「共に」小平の明日を「創る」ことにはかなりません。

皆様のいっそうのご理解とご支援をお願い申し上げます。